



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN
佐土原ロータリークラブ週報

**識字率
 向上月間**



第700回 平成13年 7月18日(水)

〔本日のプログラム〕 2001~2002年度 国際ロータリーのテーマ

- | | |
|-----------------|---|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ローターソング | |
| 「奉仕の理想」 | |
| 3. 食 | 事 |
| 4. 会長の時 | 間 |
| 5. 幹事報 | 告 |
| 6. 委員会報 | 告 |
| 7. 直前会長・幹事感謝状贈呈 | |
| 8. 点 | 鐘 |

次回予告

- ★ 7月25日(水)
 クラブフォーラム
 ガバナ-補佐訪問

- ★ 8月5日(日)
 早朝例会
 (道路愛護デ-奉仕活動)

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日 (12:30~13:30)	会長	吉田康一郎
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	宮原 建樹
事務局	宮崎郡佐土原町大字下那珂3887-17	幹事	岩下 廣美
	☎880-0212	会計	垂水 敏雄
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

第 6 9 9 回例会記録

(2001. 7. 11)

☆会長の時間

会長 吉田 康一郎 君

皆様今晚は。

本日は699回の例会、夜間例会です。例会場が変わり、とても気持ちがりラックスしております。皆様は如何でしょうか？

先週申し上げました通り、例会後、新入会員の歓迎会とまたまた新しい入会者2名を迎える事ができ、その入会式も行います。会長としましては大変嬉しく、喜び一杯でございます。

今日は先週入会された4名の方々に、佐土原RCに入会してどの様に感じられたか…一言でもいいですから、ご意見をお伺いしたいと思います。

歯車会の参加者を先週の例会で親睦委員長の前井君より、呼びかけて頂きましたが、参加者が少々少ない様ですので、再度募りたいと思います。

今回担当される高鍋RCからも年度始めでもあり、会員相互の交友のためにも是非、沢山の参加をお願いします、とのメッセージが来ておりますので、あと何人かのご参加、よろしくお願い致します。

今月の25日(水)の例会はクラブ協議会になっております。各委員長は今年度の活動方針を取りまとめておいて下さい。先日提出していただきました、活動方針、運営方針で結構ですので、まだ出されていない方は仕上げておいて下さい。

何だか事務的な話ばかりで申し訳あり

ません。

実はこれは私の独断ですけど、私の年度で入会された方に、私の尊敬する、プロゴルファー中島常幸氏のお父上が書かれました『語録』、8つのもとても感銘を受ける言葉が書いてある、“人の道”というのを額装丁し、お贈りしたいと思っております。本日、早速2名の方に差し上げます。

これからの1年間、この額が少しでも多く贈呈出来る機会が有りますよう、皆様の会員増強に対するご協力をくれぐれもよろしく、お願いしたいと思います。

7月10日(火)GSE受入れの件についての会合があり、急遽、私が出席しました。当クラブは11月24日～25日の2日間を担当することに決定しました。

11月24日—南部地区の担当クラブが「ホテルオーシャン45」までメンバーを送られ、その日は地区大会に参加、そしてホテル45へ宿泊となっております。

11月25日—午前中は地区大会
午後から自由行動

この自由行動が実質的には当クラブの担当ということになります。

自由行動をどのようにするか、24日、25日の担当責任者の選出、又、通訳の確保等、7月末日までにガバナー事務所へ返事をするようになっておりますので、皆様のご意見をお伺いし、決定したいと思います。よろしくご協力をお願い致します。

本日は時間の許す限り、池田会員のレズラン『ダン』にて、2名を加えて、

新しく会員になられた、6名の方々の懇親会を皆様と共に楽しく過ごしたいと思います。

☆幹事報告

幹事 岩下 廣美 君

本日は幹事報告等、通知事項はありません。

今日新しく会員となられた、岩切徳夫君、米澤直人君、ご入会おめでとうございます。

計6名の方々を加え、合計30名の大台になりました。

これから、当クラブの新戦力として、期待したいと思います。

本日は楽しく、愉快に過ごして下さい。

☆出席報告

委員長 太田 忍 君

会 員 数	30名
例 会 出 席 者	28名
出 席 率	93%
メークアップ者数	1名
修 正 出 席 率	97%
欠 席 者 名	誂

先週私が出席率の計算もしやすいから是非30名にしたい…と申し上げましたが、とうとう30名になりました。

これからも本日のような高出席率にしたいものです。

新入会員のご紹介



氏 名 岩 切 徳 夫 君
生年月日 昭和19年12月15日
住 所 佐土原町大字上田島27-1
勤務先 (有) イワキリ

代表取締役

住所 佐土原町大字上田島 27-1

(TEL 74-1195)

趣 味 仕事・ゴルフ



氏 名 米 澤 直 人 君
生年月日 昭和43年6月7日
住 所 新富町大字上富田

3557番地1

勤務先 (有) 住宅工房

住所 新富町大字上富田 3557番地1

(TEL 0983-33-5887)

趣 味 つり



宮日 くろしお

欄より

ほぼ満員のバスの車内で、斜め前の若い女性が化粧に熱中している。きっと朝寝坊して化粧の時間がなかったのだろう。パフで顔をほたいたり…手鏡に科を作って終わり。

同じ日の帰りのバスの車内—女子高生が携帯電話でおしゃべり中だ。甲高い笑い声が車内に響き渡ったとき、さすがに運転手が注意した。すると、ジュース缶を片手にパンを食べ始めた。

なにも女性に限ったことではないけれど、若者は恥を知らなくなった。

周囲の状況にまったく関心を払わないために、他人の存在を認知できないのである。たとえ、周りの迷惑顔に気付いたとしてもいささかも動じない。自分が周囲からどんな目で見られているかなど考えも及ばない、恥を知らない感覚。

若者は、なぜ恥知らずになったのか？脳科学者の澤口俊之さんとイラストレーターの南伸坊さんの対談集「平然と車内で化粧する脳」（扶桑社）に答えがある。澤口さんは、恥を感知せず、周りが気にならないのは「一種の脳機能障害」と判定を出している。

自我や社会的知性など、高度な精神活動を司る脳の前頭連合野がダメージを受けている場合が多いらしい。

教育や躰でダメージは改善できるが、幼児期の特徴を保ったまま成長すると、脳が慢性的な発達障害を起こすというのである。前頭連合野が25歳まで発達するのであれば、成人後も経験や知識を増やすなど、知性を伸ばす努力も必要か。

人前で化粧する女性の手鏡に脳の適齡

期が映る。

変容する社会の中で、脳の育ち方は恥の感じ方まで変えた。

恥じらいは日本女性の文化だったのに。



私の

好きなことば

.....

★働くとははたをらくにすることである

(山形県 鶴岡南 平林孝夫 歯科医69歳)

★不易流行

(松尾芭蕉の俳諧。ロータリーの基本理念は不易。奉仕のプログラムは環境の変化に応じ多様化)

★人も良かれ我も良かれ 人も良かれ我

も良かれ 人より我はちょっと良かれ

(25歳で会社を創業した時、人と人のふれあいを大切にする事、自己だけが満足することなかが理念。経営理念においては、常に組織は個の総和であることに留意して、個性、長所を生かし、共有された目的に向けて、個人の能力を最大限に発揮し会社の発展を追求する。)

(愛知県 小牧 長谷川時春 ビル建築 64歳)

★先憂後楽

(他の人より先に憂い、他の人が楽しんだ後に楽しむ。リーダーとなるための重要な要素の一つと思います)

(宮城県 岩沼 国井真一 料理店 50歳)

★人の振り見て我が振り直せ

(香川県 白鳥 角友 豊 配合資料製造販売47歳)

★日々挑戦、日々感動

(宮城県 岩沼 伊藤政一 住宅建築 51歳)

★人生これ好奇心

(愛知県 小牧 石田弘幸 土木技術 66歳)

★流水先を争わず

(青森県 八戸 浦山昭二 港湾運送業 73歳)

